

平成 20 年 3 月 12 日

#### 4 号機における廃棄物地下貯蔵設備建屋の排気ダクトの不具合について

運転中の 4 号機において、平成 20 年 3 月 11 日午後 5 時 40 分頃、排気ダクトの点検調査を行っていた協力企業作業員より、廃棄物地下貯蔵設備建屋\*<sup>1</sup>内の排気を主排気筒へ導くダクトに穴が開いているとの連絡がありました。

ただちに現場を確認したところ、当該建屋内の排気を主排気筒へ導くダクトに穴 2箇所（約 40mm×約 20mm、約 5 mm×約 2.5mm）が開いていることがわかりました。

その後、ダクトの穴の周辺に放射性物質による汚染の有無および、ダクト内部の気体について放射性物質の有無を確認したところ、いずれについても検出されなかったことから、この穴を通じて外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

この穴については速やかに補修を行いました。

また、主排気筒放射線モニタ\*<sup>2</sup>および、空間線量率を測定するために発電所敷地境界近傍に設置されているモニタリングポストの値は通常の変動範囲内であり、周辺環境への影響はなかったものと考えております。

当該ダクトについてはこれまで点検を行っていなかったため、腐食状況を確認しておりませんでした。

今後は、当該ダクトの点検周期を定め、的確に点検を行ってまいります。

以 上

\* 1 廃棄物地下貯蔵設備建屋

廃棄物処理において発生する使用済樹脂等を貯めるタンクが設置されている建屋。

\* 2 主排気筒放射線モニタ

建物内の空気はフィルタなどを經由し排気筒から放出している。主排気筒放射線モニタは環境への放出にあたり排気中の放射線を測定する装置。

# 4号機 廃棄物地下貯蔵設備建屋の換気空調系概略図

